



1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：片野之万 副会長：清水 裕 幹事：三荒弘道 会報委員長：馬上 晋

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30

会場 ブランドホテル神奈中 2F

事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内

連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2017年12月14日 第 3132 回 週報第 3132 号

本日12月14日	会員数 61名	対象者 58名	出席者 45(42)名	出席率 73.77%			
前々回11月30日	会員数 61名	対象者 58名	出席者 38(37)名	出席率 65.52%	MUP 4名	計 42名	修正率 71.19%

上期情報集会報告会

テーマ 「なぜ出席率を上げなければいけないのか」
「出席率を上げるためにどうすれば良いのか」

赤グループ 米山俊二幹事 (同発表)

開催日：2017年11月30日

リーダー：米山俊二

メンバー：小泉芳郎 / 桐本美智子 / 木村義広
高橋健二 / 山口紀之 / 玉井常裕 / 米山俊二



テーマ①「なぜ、出席率を上げなければいけないのか。」

- ・人の輪を広げるためには出席すると友人が増え何かと便利になる
- ・自分を磨くため、いろんな人と接触する事が必要だから
- ・業種の違う人が多く、勉強になるため
- ・「友の輪」が広がる、そのためにも会員が多くいた方が良いが、出席しないとだめ
- ・自身の向上心のため、良い人、良い場所、良い本を読むと言われるが、良い場所のためにロータリークラブがある。
- ・欠席が多いと例会に来づらくなり、退会する人が多くなる

テーマ②「出席率を上げるために、どうしたらいいか。」

- ・卓話の充実、タイムリーな情報、魅力ある講師を呼ぶ
- ・自分の趣味、嗜好の集会を増やす。例えば、ワイン、釣り、カラオケなどいろんな同好会を作ったらどうか。
- ・卓話やイベントを案内し他クラブの会員が来やすくする
- ・メーカーシップをした会員を出席委員長が報告する
- ・出席 100% DAY を実施する
- ・ビジター会員を温かく迎える
- ・誘い合って例会に出席する

橙グループ 梅干野修司幹事 (同発表)

開催日：2017年12月5日

リーダー：梅干野修司

メンバー：片野之万 / 福澤正人 / 高橋賢二
鳥山優子 / 鈴木忠治 / 瀬尾光俊 / 梅干野修司



なぜ出席率を上げなければいけないのかですが、ロータリーが出席率にこだわり過ぎではないか、という意見もあると聞きますが、単に出席率を上げれば良いというものではなく、ロータリーは先ず出席し、交友と親睦を深めつつロータリー活動の展開を図るのが順序であり、原則であることを忘れてはいけないということです。出席は義務ではなく、権利であり、出席しないと権利放棄になってしまうという意見がありました。

また、出席率が低くなる等と例会の盛り上がり欠けてしまうというの理由になるのかなという意見もありました。過去には、4回欠席すると退会になってしまうという時代もあったと聞かす、出席率を上げるためには、次の三つを提案します。

●(長期) 欠席者への声かけ。

自らロータリーに加入したので欠席者でもできれば出席したいと思っても欠席が続いてしまうと出席しづらくなっていると思われ、先輩や出席委員会のメンバーが中心となって声かけをすれば出席のきっかけになると思います。会員が他の会員への思いやりが大切だと先日大谷ガバナーも仰っていました。

●卓話の充実。

出席者のなかで卓話を楽しみに来ている人も多いのではないかと思いますので、聞きたくするような魅力ある卓話(講師)が増えれば、出席率も上がるのではないかと考えられます。

●情報集会の回数を増やす。

情報集会は、小規模であるので仲間との親睦も図られ、距離が短くなる。現在年2回実施しているが、4回に増やす。会費補助も半額負担にすれば現状の予算で可能になります。以上、橙グループの意見であります。

黄グループ 益山賢太幹事 (同発表)

開催日：2017年11月28日

リーダー：益山賢太

メンバー：小飯塚立雄 / 武澤武彦 / 清水雅広
小野学 / 秋山 智 / 青山紀美代 / 米山範明
葛西敬 / 益山賢太



黄色グループの情報集会は、11月28日火曜日にキッチン伊志川にて9名が出席し、開催されました。

1 「なぜ出席率を上げなければいけないのか」

このテーマに対しては、参加メンバー全員でロータリー百科事典に書かれている「会員の義務と特典」を確認しました。会員義務の3項目には「例会に出席する事」と明記されています。ロータリークラブの会員であるならば、義務を果たすための努力は常に行うべきであり、その指標が「出席率」であるとの認識を共有しました。

また、ロータリークラブの掲げる「奉仕の精神」は互いにその志を高めることで、実現できるものであると考えます。そのためには例会に出席し、会員同士が意見を交換する場を数多く持つことが重要であり、会員各自が出席率向上に向けた強い意志と努力を常に行う必要があるとの結論に至りました。

2 「出席率を上げるためにはどうすればいいか」

義務感に追われ出席するだけでは、ロータリークラブの目的を達成することはできません。会員が「参加したい！」と思う例会にしなければならず、そのためには様々な工夫が必要であると考えます。「魅力あるプログラムの提供」や「楽しい雰囲気造成」にむけ、担当委員会の地道な努力が重要です。また会員一人ひとりも、自らの心を開き、会員相互のコミュニケーション大切にする必要があると考えます。互いの立場や状況を尊重し、思いやりを大切にする事が、会員のモチベーションを高め、平塚クラブのさらなる発展に繋がるものと考えます。

今回の情報集会も貴重な交流の場となり、黄色グループ一同、出席率の向上に向けた取り組み意欲が高揚する(顔色も紅葉する?)有意義で楽しい時間となりました。

緑グループ小林 誠幹事 (同発表)

開催日：2017年12月6日
 リーダー：小林 誠
 メンバー：成瀬正夫 / 清水孝一 / 鳥海衛一
 関口幸恵 / 栗原良彰 / 豊川忠紀 /
 事務局吉野 / 小林誠



成瀬会員、清水孝一会員、鳥海会員、関口会員、栗原会員、豊川会員、事務局吉野さんありがとうございました。ラス力屋上アマルフィさんに美味しい料理を頂きながら情報交換した内容を報告させていただきます。

出席率が高いと、クラブの活気が高まり、会が盛り上がるのは当然ですが、個々の親睦と異業種交流の幅も広がります。だからこそ継続して例会に出るとメンバー同士の会話が繋がりが多く、情報を得て、関係性も強くなり必ず何か持って帰るモノがあります。

出席率を上げる為には、吉野さんからのメールで例会案内や卓話情報が発信されるのは助かりますし、具体的には年間スケジュールを手帳に書いておく、義務ではなく権利であると認識する。などの活発な意見が多く出ました。

最後に私の感想ですが、例会に参加できない理由を発するよりも毎回参加して何かを持ち帰りたい。また、年代・業種を超えているんな方と話をしようと思いを切り替えたいと思いました。

今回も情報集会という機会に感謝するとともに、非常に勉強になりました。以上緑チームの報告となります。

青グループ 元吉裕員幹事 (同発表)

開催日：2017年12月4日
 リーダー：元吉裕員
 メンバー：升水一義 / 常盤卓嗣 / 柳川正人
 西村裕子 / 三荒弘道 / 飯塚和夫 / 今村佳広
 嶋田政光 / 平井敬規 / 元吉裕員



「なぜ出席率を上げなければいけないのか」

現状、会員数が増える中で、40代の若手会員も多くなり、現場で先頭に立って働いておられる若手会員も少なくない状況ではないでしょうか。

ロータリーは長い歴史のある会ですから、諸先輩とお目にかかってお話をさせて頂くだけで大変意義があるものと思います。話をすることで問題意識も深まりますし、様々な活動の指針、ヒントも得られるものと思います。多くの方と話をするためには、とにかく例会に参加して多くの皆様と親しく交わることが大事なことだと存じます。

4つのテストの中にも「好意と友情を深めるか」とありますが、やはり出席しなければそれも深められないことですね。時間の使い方を考えることも経営者ではないのでしょうか。「ロータリーは出席することに意義がある！！必ず出席！！」という意識をどこまで持つかという意識改革が必要かと思えます。義務と権利、何の為に、ロータリーの魅力等々理解を深めてもらうことが大事ではないでしょうか。

「出席率を上げるためにどうすればいいのか」

・皆が出てきやすい場づくり・卓話以外にも工夫・テーブルディスカッション・テーブルを委員会毎や色別、業種別など変えてみる・自己紹介の場をつくる・他クラブの良いところをどんどん取り入れる・先輩にメークアップに連れて行ってもらう。(横浜RCや東京RCなど)

・メークアップに来てもらえるクラブにしていく・魅力あるクラブ・新しい事業、企画を考えていく。家族会、姉妹クラブの見直しも含め・夜間例会の曜日を変えてみる・出来ることから少しずつでも変えて行って魅力あるクラブになれば必ず出席率も上がっていくのではないのでしょうか。

紫グループ 竹下徹洋幹事 (同発表)

開催日：2017年11月29日
 リーダー：竹下徹洋
 メンバー：小笠原勲 / 牧野國雄 / 柏手茂
 白石慎太郎 / 森誠司 / 江藤博一 / 堀康紀
 竹下徹洋



「出席率をなぜ上げないといけないうか？」と言うことにつ

いては、ロータリー歴50年の小笠原先輩や牧野先輩からいろいろとお話を頂く中で、例会に出席することはロータリアンとしての責務であり、卓話やロータリアン同志の情報交換を通じて、人間成長にも繋がるため出席した方がいいとの結論にいたりしました。

さらに、昔は出席率が大変厳しく、入会自体が出席できることが条件でもあったとのこと。最近では、「出席できるときでいいですよ」みたいな風潮になってきたことにも課題があるのではとの話もありました。

私自身も先輩諸氏の話聞き、毎週木曜日100%出席を目指して頑張っていきたいと思いました。

また、今後の卓話候補として、小笠原会委員による「おでんの話」を是非聞いてみたいとの話になりました。

次に、「出席率を上げるためにはどうすればいいのか？」については、いろいろなアイデアがでましたので、ご紹介いたします。

・メークアップの仕方や作法を教えてもらう(やり方がわからない方もいます)またクラブによって、メークアップ料が違うことも教えてほしいとのこと。さらに、高いクラブについては、できれば下げてほしいとの意見もありました。(お勧めは、西ロータリーのボンスだそうです、料理が大変おいしいとのことでした)

幹事報告

◎49年間にわたり、平塚ロータリークラブでご活躍されました鈴木栄一会員がご病気の為、今月をもって退会されることとなりました。大変残念ですが、一日も早くご体調を回復されますことを会員一同お祈り申し上げます。また、永年のロータリー活動に感謝申し上げます。お疲れ様でした。



◎本日はIMキャラバンのご訪問です。

平塚南ロータリークラブの平野恵美子会長がご訪問されています。2017-18年度第8グループIMのご案内(ホストクラブ;平塚南RC)会場:平塚プレジール6階「若松の間」日時:2018年2月10日(土)

13:30 登録 14:25 IM開会の点鐘
 15:30 一般公開 17:15 IM懇親会
 平塚プレジール5階「高砂の間」
 テーマ:『"まちに活力を"地域の魅力を見つけよう』

委員会報告

◎親睦委員会 委員長 小林誠
 12月21日(木)クリスマス家族会のお知らせ

◎プログラム委員会 委員長 秋山智
 1月11日(木)「ニューイヤーコンサート」の出欠が本日までとなります。
 未回答の方は出欠表を回しますの、ご記入ください。

メークアップ (MUP) 4名
 江藤博一、杉山昌行、瀬尾光俊、常盤卓嗣会員

本日のスマイル 19名

ゲスト 1名

IMキャラバン 平塚南RC平野恵美子会長



平野恵美子会長

ビジター 0名

卓話・行事予定

12月21日(木) 夜間例会 クリスマス家族例会
 12月28日(木) 休会(定款による)
 1月04日(木) 休会(定款による)
 1月11日(木) 夜間例会・ニューイヤーコンサート

市内例会変更 現在ございません